

令和 7（2025）年度 公益財団法人とちぎ未来づくり財団事業計画

I 基本方針

定款に基づき、令和 7（2025）年度においても、次代を担う子ども及び青少年の福祉の増進に資するとともに、県民の生活に潤いと活力をもたらす文化の振興に寄与するため、子ども及び青少年が健やかに成長できるための青少年健全育成事業、芸術性・公共性の高い文化振興事業、埋蔵文化財の調査研究・保存・普及啓発事業などを、相互の連携のもとに展開し、公益財団法人として、より公益性を意識した事業展開を進め、地域社会に貢献していく。

昨年度には、財団の基本理念に基づき、新たにロゴマークの策定及びホームページのリニューアルを行ったところであり、令和 7 年度においては、事業所間の連携をさらに深め、今以上に財団としての一体感を持って運営に当たることとする。

事業の実施及び利用者の受入に当たっては、安全・安心を最優先に適切な対応を行っていくとともに、物価の高騰・人件費の引上げ等による管理運営経費への影響は今年度も続くことが予想されることから、業務の見直し、収益の向上及び徹底的な経費の節減に努め、効果的・効率的な管理運営を行う。

指定管理施設である子ども総合科学館においては、大規模改修のため昨年 1 月から約 1 年 9 か月にわたり屋内施設を休館しているが、10 月予定のリニューアルオープンに向け、県と連携を図りながら万全の準備を進めるとともに、オープンに合わせ記念イベントを実施する。

II 主要事業内容

1 青少年健全育成事業【栃木県青少年育成県民会議事業】（公益事業 1）

心豊かでたくましいとちぎの青少年の育成をめざして、国、県、青少年育成市町村民会議、市町関係行政機関及び青少年の健全育成を図る諸団体と緊密な連携のもと事業を展開する。

(1) 市町村民会議との連携強化・住民啓発促進に関する事業

県内全市町に設置された青少年育成市町村民会議との連携強化に努め、市町における青少年育成活動の活性化を促進するとともに、青少年育成に関する情報を発信し、住民の青少年育成に対する関心を高めていく。

ア 青少年育成市町村民会議支援

イ 青少年育成指導員活動支援

ウ 広報啓発

エ 関係団体連携

(2) 青少年の自立と社会参加活動の推進に関する事業

青少年が主体的に判断し行動できる資質や能力を身につけるための事業を実施し、社会的に自立した青少年の育成を図る。

ア 少年の主張発表大会

イ 青少年育成県民会議表彰

ウ 親子学び合い事業～ネット時代の歩き方講習会～

エ とちぎネット利用アドバイザーフォローアップ研修

オ 青少年育成セミナー

カ ミライチャレンジプロジェクト事業（県と共催）

(3) 「とちぎ 心のスクラム県民運動」推進事業

青少年育成県民運動の一層の連携と推進を図るため、県や市町、教育委員会、県警等関係団体との連携を強化し、県民運動推進体制の整備を図る。

「家庭の日」推進（「家庭の日」絵日記コンテスト等） ほか

2 栃木県子ども総合科学館管理運営事業（公益事業１）

令和７年秋のリニューアルオープンに向けて、高い専門性や発展性等を備えた運営体制を確立し、子どもの科学への関心を高める魅力的な事業展開を図り、科学技術普及啓発施設としての役割を果たすとともに、大型児童館として児童健全育成活動を実施する。さらに、リニューアルオープンを記念し、県内の学校や企業をはじめ他県科学館、専門家等との連携事業を展開する。

指標項目	平成30年度半期分	令和７年度下半期	対比
展示場観覧者数	84,854名	129,500名	152.6%
プラネタリウム観覧者数	28,348名	48,000名	169.3%
利用料金収入（税込）	36,609千円	73,084千円	199.6%

《主な事業》

(1) 展示場の運営及び各種教室の実施に係る事業

ア 展示場等の運営

再配置された展示品（約160種）の解説やサイエンスショー等を実施する。

また、新たに整備された展示場のラウンジスペースを活用しての各種特別イベント開催や科学情報掲示、展示ワゴンによるミニ展示イベント等を行う。

イ リニューアルオープン記念イベントの実施

高校や大学、企業、専門家等との連携協力のもと、科学の知識やとちぎが誇る科学技術等を体感できるリニューアル記念イベントを実施する。

- ・ 期日 10月（リニューアルオープン）から12月の土日祝日
- ・ 内容
 - ・ はやぶさ帰還5周年を記念するプラネ特番投影と特別講演
 - ・ 全国レベルのロボットデモンストレーションや演奏会
 - ・ テーマ別のサイエンスショーの共演
 - ・ ものづくりとちぎの技術を活かした工作体験 等

ウ 企画展の開催

第86回（春）企画展「回転の科学」（仮）

・期日 3月20日（金）～4月5日（日）

・内容 私たちの身の回りにある「回転」や「渦」に注目して、様々な現象を科学的に解説する。また、おもちゃの回転運動を体験したりすることで、楽しみながら回転の科学を学ぶ。

エ 科学技術コンクール ロボット・チャレンジ 2025-

・期日 11月8日（土）

・対象 中学生・高校生ほか

・内容 ものづくりの楽しさや面白さを感じてもらいながら自己成長を促す機会として、自作ロボットの競技会を行う。

オ 各種教室の実施

「科学工作教室」、「アウトリーチ事業（移動科学教室）」等を実施する。

(2) プラネタリウム及び天文台の利用に係る事業

ア プラネタリウムの投影

最新鋭の設備を用いて、星や宇宙の話題を紹介する「一般向け番組」を2本（うち1本はリニューアル記念番組）、年少向け番組を3本（うち1本はリニューアル記念番組）投影する。その他、天文学習支援をねらいとした「学習番組」、天文現象の紹介や音楽とともに楽しむ「特別番組」等を投影する。

また、新たに夜間投影を実施するなど多様な利用ニーズに対応する。

イ 天文台の利用

「星をみる会」を月1回、「天文台公開」を月2回程度実施する。

ウ その他天文普及活動

「天文教室」、「星空案内人資格認定講座」、「講演会」等を実施する。

(3) 児童厚生施設としての利用に係る事業

ア 体験・育成事業

子ども同士の交流の機会を提供する「おしごとラボ」や「忍者道場」、創造性を育む新規事業「あそびのワークショップ」や「おはなし屋さん」、子育て支援のための「まめっこタイム」などのあそびのプログラムを実施する。

また、リニューアル記念イベントとして、「あそびのワークショップスペシャル」や「おかえり！おしごとラボ」などを実施する。

イ 県内児童健全育成団体等への支援・指導、連絡調整等の事業

あそびプログラムを提供するアウトリーチ事業、また、県内児童館等への情報提供や児童館職員等のレベルアップ研修事業、栃木県児童館連絡協議会としての児童館への活動支援など、県内児童健全育成団体等への支援を行う。

ウ 乗り物広場の運営及び屋外遊具の管理

変わり種自転車の貸出し、ミニ機関車の運行及び点検・整備等の実施並びに屋外遊具の安全点検を実施する。

(4) リニューアルに係るPR事業

ア 機運醸成への取組

新聞やテレビ等のマスコミ媒体をはじめ、公共交通機関等の広告媒体を活用した広報活動を行うとともに、県有施設等を活用してのアウトリーチ活動を行うことにより、県民のリニューアルへの期待感を高める。

イ 広報活動の充実

リニューアルに向け、各種広報媒体の効果的な活用により積極的に情報発信を行うほか、ホームページの改良を行いユーザビリティの向上を図る。

3 栃木県立とちぎ海浜自然の家管理運営事業（公益事業1）

栃木の子どもたちに海の自然や文化に触れさせる「海の分教場」、幅広い利用者に多様な学習の場を提供する「生涯学習施設」としての役割を果たすとともに、「とちぎの海のふるさと」として青少年の健全育成と生涯学習の振興を図る。

空調・照明の大規模改修により利用者の利便性が大きく向上し、快適に過ごせる生活や活動の場の提供が可能になったことについて、新マスコットキャラクター「海ぴい」も活用しながら、県内居住者はもとより県外居住者も含めた利用者に対して積極的な広報活動を行うことにより利用の促進につなげていく。

指標項目	令和6年度（見込）	令和7年度目標	対比
延利用者数	49,329名	53,500名	108.5%
主催事業参加者数	1,538名	1,500名	97.5%
利用料金収入（税込）	40,514千円	43,600千円	107.6%

(1) 臨海自然教室事業（5月～1月を原則として通常の授業日に実施する）

栃木県の小学5年生を対象に、海辺での集団宿泊や自然活動など、様々な体験的な学習を教育活動の一環として実施する（「海の分教場」としての重点事業）。

活動プログラムの提供を行うとともに、実施にあたっての指導助言などを行うことにより、安全に有意義な体験活動が行えるよう支援する。

(2) 各種団体受入事業（4月～3月）

県内外の学校教育・社会教育団体や企業等を受け入れ、研修、交流活動、家族の触れ合い活動等を支援する。

施設・備品等の貸出しや活動プログラムの提供・活動に対する助言を行うことにより、安全に有意義な生涯学習活動が行えるよう支援する。

(3) 主催事業（10事業12回）

地域の産業・文化を積極的に取り入れるなど、地域や関係諸団体と連携しながら主催事業を企画実施する。周辺の自然環境を活用した体験活動等を行うなどメニューの充実を図るとともに、例年人気のある内容を多く取り入れることにより利用層の更なる開拓を図る。

ア 海浜メロン狩り

イ 地引網体験

ほか

エ ウインディハロウィンキャンプ

オ 出前授業

学校、公民館等に職員が道具材料を持参し、創作活動の支援を行う出前授業を12月から3月までのLED化工事期間中実施し、積極的な広報により参加者増につなげる。

5 文化の振興に関する事業（公益事業2）

県民文化の振興と文化活動の支援のため、良質な舞台芸術の鑑賞事業と県民参加事業を提供する。

(1) 自主財源による文化事業

財団主催の各種文化事業及び民間事業団体等との各種共催事業を実施する。

ア 主催事業

- ・ 平日の贈り物♪ランチタイムコンサートシリーズ 全6回
「新井啓泰ピアノ・リサイタル」（ピアノ）
「早川愛ソプラノ・リサイタル」（声楽）ほか
- ・ 県民の日スペシャル
「清塚信也トリオコンサート（ピアノ・ヴァイオリン・チェロ）」
- ・ 千住真理子デビュー50周年記念ヴァイオリン・リサイタル ほか

イ 共催事業

- ・ 劇団四季ミュージカル「赤毛のアン」
- ・ プラハフィルハーモニア管弦楽団（チェロ：宮田大）
- ・ 松山バレエ団「くるみ割り人形」 ほか

(2) 栃木県補助金等による文化事業

ア 鑑賞型事業

- ・ 狂言 万作の会

イ とちぎ舞台芸術アカデミー（参加創造交流型文化事業）

- ・ 第5回栃木県新人音楽家演奏会 ―未来にはばたけ とちぎの音楽人―
- ・ 第29回『コンセール・マロニエ21』（金管楽器部門）
- ・ 学校訪問演奏会『音楽って素晴らしい！学校でこんにちは！』
（下都賀・安足地区／全9回） ほか

（67事業121公演）

6 埋蔵文化財の保護、調査研究及び普及啓発に関する事業（公益事業3）

栃木県及び国、県内市町の委託を受けて、開発地内等の埋蔵文化財の発掘調査事業を実施するとともに、栃木県からの委託により、埋蔵文化財センターの施設の管理、埋蔵文化財の保存活用及び埋蔵文化財についての知識の普及に関する事業を行う。

(1) 埋蔵文化財発掘調査事業（発掘調査及び整理作業予定件数 12件）

ア 栃木県からの受託事業

- ・ いにしえのとちぎ発見どき土器わく湧くプロジェクト さむらいづか 侍塚古墳（大田原市）
- ・ 道路整備事業 こいずみぶんこううら 小泉分校裏遺跡（益子町）ほか
- ・ 遺跡確認調査 かみながた 安塚・上長田地区（壬生町・下野市）
- イ 国からの受託事業（国土交通省）
 - ・ 思川堤防整備事業 しんじろ 新城遺跡（野木町）
- ウ 市町からの受託事業
 - ・ 栗宮新都心区画整理事業 なかしべ 中渋辺遺跡ほか（小山市）
 - ・ （仮称）あしかが久保田産業団地整備事業 かみとりちょう 神取町遺跡（足利市）
 - ・ 佐野市遺跡詳細分布調査 ほか

(2) 栃木県埋蔵文化財センターの管理及び埋蔵文化財の保存活用・普及啓発事業

ア 埋蔵文化財に関する情報収集及び提供

- ・ 県内の埋蔵文化財に関する情報の収集
- ・ 遺物、図面、写真等の貸出
- ・ 「埋蔵文化財センターだより」「とちぎ発掘調査成果情報誌」等の印刷物による情報発信
- ・ ホームページやSNS等による情報発信

イ 埋蔵文化財に関する普及啓発

- ・ 展示 常設展及び企画展ほか
- ・ 講座・講演会 特別講演会、企画展講座ほか
- ・ 施設公開 バックヤードツアー、埋蔵文化財センター特別公開
- ・ 説明会・見学会 現地説明会、史跡見学会、学校・団体のセンター見学
- ・ 出前授業 学校・公民館等への出前授業・講座講師
- ・ 地域連携 市町等と連携した遺跡・出土品を活用した事業等の支援

ウ 研修

- ・ 埋蔵文化財担当者研修会
市町の埋蔵文化財担当者等を対象とした研修会の開催
- ・ ボランティア養成講座
普及事業に協力するボランティアを養成する講座を実施

エ 埋蔵文化財に関する出土品の資料管理

- ・ 出土品や記録した図面、写真、デジタルデータ等の保管管理
- ・ 退色する可能性のあるカラースライドフィルム等のデジタルデータ化

7 栃木県総合文化センター管理運営事業（収益事業）

県内文化振興の拠点施設である栃木県総合文化センターの施設管理及び利用者サービス事業等を行うとともに、広く県内の文化振興を図るため、県内各種芸術文化団体・公立文化施設等とのネットワークを活かして、文化振興事業等実施の支援を行う。

今年度も、利便性やホスピタリティー等を向上させることにより、施設利用促進と収益の増加を図っていく。

	令和6年度（見込）	令和7年度目標	対比
利用率　メインホール	60%	65%	+5%
サブホール	78%	80%	+2%
ギャラリー	60%	65%	+5%
会議室	55%	65%	+10%
練習室他	60%	65%	+5%
利用料金収入（税込）	125,000千円	140,000千円	112%

(1) 施設利用受付業務

ホール、ギャラリー、会議室、各種練習室等の貸出しを行う。

(2) 利用者サービス業務

イベントスケジュールの発行、ホームページ、メールマガジン、SNSによる催事情報の提供を行うとともに、文化団体や企業向けに施設利用促進を図る広報活動を行う。

また、施設利用に関する助言のほか、利用者のニーズに合わせてケータリングや会場設営などのサービスを提供する「らくらくサービス」事業を実施する。

(3) 施設の維持管理業務

快適な館内環境の維持や利用者の安全確保のため、施設設備・消防設備・舞台設備の保守点検及び備品等の管理を行う。

必要に応じて修繕工事を行うのみならず、保守点検結果を中長期修繕計画に反映させ、予防保全工事の必要性について、積極的に県に提案を行っていく。

また、来館者の安全を守るため、消防訓練・防犯訓練を実施し、有事の際に対応できる体制をつくる。

8 生涯学習の振興に関する事業

財団主催事業として、県民の学習ニーズに合わせて当財団のソフト・ハードを活用して開催する講座等を「とちぎ県民カレッジ」に登録し、広く県民に学びの場を提供する。